

“障がい児の保護者の居場所カフェ”

ノウハウ移転事業についての詳細



＜“うさぎカフェ”が提案する、障がい児の保護者の居場所とは＞

私たちが提案する居場所とは、発達に不安のあるお子さんのお母さん・お父さんたちが、困った時に相談に行け、同じ立場の人たちに出会い、「ひとりじゃない」という気持ちになってもらえる、そんな場です。そのような場に繋がることによって、少し不安な気持ちが減って、ちょっとだけ肩の荷がおり、来た時よりも帰るときに“普通より難しい子育て”に向き合っていくエネルギーがちょっとだけ増えるような…そんなじんわりとした支えを提供するのが、この居場所の目的なのです。また、場づくりの活動を通して、「子どもだけでなく保護者にも支援が必要なんだ」ということを、地域社会の皆さんに知っていただく機会を作ることにもつながりたいと考えています。周囲の温かな理解があると、子育ての苦労が軽くなるからです。

＜“障害児の保護者の居場所ノウハウ移転”とは＞

居場所が1か所しかなければ、そこが嫌ならその人はもう居場所に繋がれなくなってしまいます。でも、居場所があちこちにあれば、お母さん・お父さんたちは、行きたい居場所を自分で選んで、自分に合うところに行くことができます。そのほうがずっと良いと私たちは考えているのです。しかし「私も居場所カフェしてみたいな」と思う方がいらっしゃったとしても、経験のない人が場づくりを一から行うのは大変です。準備段階で挫折してしまうかもしれません。そこで、私たちが「うさぎカフェ」を作り、これまで2年間運営して年間延べ千人を超える保護者を受け入れている、そのノウハウをお伝えすることで「保護者の居場所を作りたい」の立ち上げが少しでも楽になるようにお手伝いするのが、この「居場所ノウハウ移転」です。これは決して、「うさぎカフェ」の「のれん分け」ではありません。例えば「うさぎカフェ」自体はピアサポート（当事者による当事者支援）の場であり、実施主体が障がい児・者の親ですが、ノウハウ移転先については、実施主体についても柔軟に考え、対応させていただきたいと思っています。移転によってお伝えしたいのは「うさぎカフェのマインド」であり、実際のやり方はいろいろあって良い、いやむしろ、いろいろあったほうが良いのです。

移転には以下の2つのパターンがあります。

移転をご希望される方は、ご自分たちが次のうちどちらに当てはまるかを考えてみてください。わからない場合は遠慮なくご相談ください。

パターンA…「子どももある程度大きいし、今すぐ居場所づくりに着手できます！」既に母体となる団体があり、ある程度の年数の活動歴がある団体の方、もしくは運営母体が障がい児の保護者ではない団体の方には、基本、以下のスケジュールで移転させていただきます。（相手先団体によってカスタマイズ可能です）

（ア）受け手側団体に対し「ノウハウ移転1日座学」を行い、理念と支援の実際、（会計、広報）等について講義形式で具体的ノウハウをお伝えします。

（イ）受け手側団体の所在地において、保護者支援についての一般参加可の講演会（もしくは勉強会）を行うことにより、居場所が定着していくための「地域の空気を作る」最初の一步とします。（講師：NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ理事長 安藤希代子）

（ウ）受け手側団体メンバーに「うさぎカフェ」の取組を体験してもらい、そのノウハウについて実地でお伝えします（1日あたり受け入れ人数2人×必要日数）

（エ）受け手側団体の所在地において、受け手側団体が主体となって、1日限定の「障がい児の保護者の居場所」を作り、居場所事業を実施していただきます（「うさぎカフェ」スタッフ2名がお手伝いに参ります）

パターンB…「メンバーがまだ子育て真っ最中！」団体結成後間もなかったり、活動年数が浅い団体の方、または地域に保護者の居場所があったらいいなと考えているが保護者の組織自体がまだ存在しないという地域の行政の方や支援者の方

（ア）受け手側団体に対し、「団体運営についての座学」の日を設けます。将来居場所づくりを行えるように、まずは団体を育てていくための、団体運営の基本（理念、組織、規約、会計、活動場所の確保、事業計画の立て方等）についてお伝えします。

（イ）受け手側団体所在地において保護者支援についての一般参加可の講演会（もしくは勉強会）を行うことにより、保護者の活動を側面支援してくれるサポーターの方が増えて行くような「地域の空気を作る」ための、最初の一步とします。（講師：NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ理事長 安藤希代子）

パターンA・B共通

事業のまとめ

全プログラム終了後、振り返りの場を持ち、今後、受け手側団体がどのように障がい児の保護者支援を推進していくかを共に考えさせていただき、具体的なプランの骨格づくりのお手伝いをさせていただきます。

事業実施後の発展

受け手側団体には、作成したプランを次年度以降、実施していただき、「NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ」は、アフターフォローをさせていただきます（具体的な相談に乗る等）。居場所実施の様子は、平成 30 年度末に発行予定の「居場所づくりテキスト本」に掲載させていただき他、将来的に居場所が増えたら、居場所同士の情報交換会の実施や保護者支援啓発フォーラムでの発表等につなげていく予定です。

地域に温かなつながりの場を作りませんか？まずはお電話かメールで、
ご相談ください
